



2005年12月25日

日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

43-0468(福田)
42-2462(鈴木)

毎週 日曜日 発行
インターネットでも
ご覧いただけます。

鈴木やす子議員
の一般質問から

12月議会での、鈴木やす子議員
の一般質問の概要を紹介します。

市立病院 説明会」の報告を

【鈴木やす子議員】市立病院問題についての説明会が市内7カ所で開かれた。のべ800名が参加し、どこ

意見や患者さんの切々たる要望を聞いての、市長の所見をうかがう。

の会場でも多くの質疑が出された。感心の高さにこたえるべきで、説明会の概要、質疑・意見等について報告を求める。また、きびしい

【市長】診療体制については、広報誌に随時折り込んで、何らかの報告を考えている。所見として、再生・継続に向けて決意を新たにしたい。

【鈴木議員】急激な変化で病院全体の医療業務の現状と改善の方向はどうか。入院患者は半減し、医療技術者の業務も減っているが、看護師・技術職の実態や処遇はどうなっているのか。有給休暇の取得、勉強会の実施などの改善はどうか。

【市長】内科、外科、小児科、眼科、歯科は何とか維持できる見通しである。整形外科は1名を確保し、さらに増員をめざしている。婦人科は、1名体制で、産婦人科医の確保はきびしいが続けたい。泌尿器科と脳神経外科は交渉中である。

【市長】日立医療圏内では、当院が初期救急を担えるよう要望されており、努力している。

地域への学校開放

【鈴木議員】新築された明德小学校の校舎は、地域への開放を想定して設計されている。校舎開放のモデル的なケースとなると思うが、管理規則の整理についての

学校給食に米国の牛肉を使うな

【鈴木議員】内閣府の食品安全委員会の答申には、「安全かどうか評価することとは困難」だと結論されている。にもかかわらず、アメリカの言うことなら何でもつき従ってきた小泉政権が、国民の食と健康まで売り渡してしまおうとしている。たとえ百歩ゆずったとしても、米国産の牛肉はグレーゾーン。少なくとも学校給食には米国産の牛肉は使用すべきではないと考える。

検討はすすんでいるのか。【教育次長】いくつかのイベントで開放を実施している。今後も事例を積み上げながら検討していく。

【鈴木議員】実績をかさね、工夫をしながら、使いやすい形にしてほしい。地域の方に大いに利用してもらうことは、子どもたちを守る一助にもなる。

【鈴木議員】内閣府の食品安全委員会の答申には、「安全かどうか評価することとは困難」だと結論されている。にもかかわらず、アメリカの言うことなら何でもつき従ってきた小泉政権が、国民の食と健康まで売り渡してしまおうとしている。たとえ百歩ゆずったとしても、米国産の牛肉はグレーゾーン。少なくとも学校給食には米国産の牛肉は使用すべきではないと考える。

包括支援センター

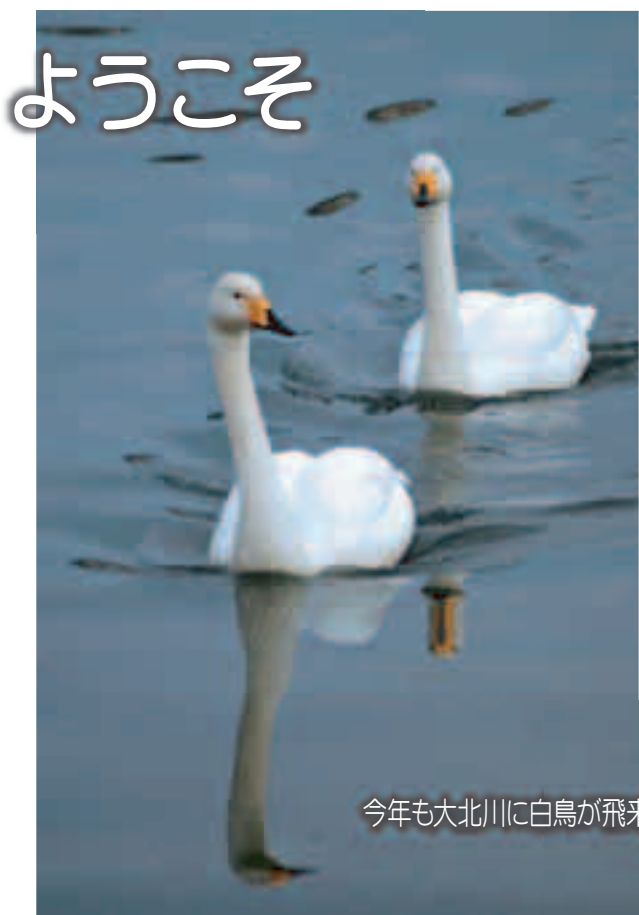
【鈴木議員】介護保険の見直しにもなう地域包括支援センターの設置と、その

運営協議会の内容についてうかがう。当面、利用者にとつて直接的なのは「新予防給付」のサービスについてであり、これらの対象予定者数についても伺う。

【市民福祉部長】地域包括支援センターについては、一カ所設置予定である。資格を有する人員配置については、調整が必要だが、市が責任をもって取り組む。

【鈴木議員】人口5万の市で対象者は、要介護の70%および要支援あわせて約600人が予想される。地域包括支援センターの設置は、介護予防にあつての大事な事業であり、行政がきちんと責任を負うべきである。対象者に見合う人員配置、ならびに必要な専門職員の確保・養成と予算措置も必要である。委託できる部分があっても責任は行政にあり、十分なチェックができる保証を確立していただきたい。

このほか、予防保健事業・健康21計画の取り組み状況について質問。



ようこそ

今年も大北川に白鳥が飛来

医療スタッフについては、看護に関する事例の発表会、接遇の研修会などを積極的にこなわされている。【鈴木議員】日立医療圏、いわき南部までの圏内での市立病院の役割をどう考えるのか。また県とはどう協議しているのか。

【教育次長】世論調査で米